

The Highlight of GIRLS' Game

今回の大会も、優勝に一番近いのは岐阜女子高だ。岐阜女子高が初優勝を果たしたのは、昭和63年11月2日の選抜大会だった。それから26年、今年も23年連続24回目の優勝に挑む。スピードとパワーあふれるバスケットボールを県内及び全国の岐阜女子高ファンに披露してもらいたい。そんな一帝国を築き上げた岐阜女子高の連続優勝記録を止める高校は現れるのか！最もその位置に近いのは県岐商高であろう。悲願のウィンターカップ出場を目指し、決勝戦では岐阜女子高相手にどれだけ食らいつけるか注目したい。高山西高は、新チーム主体の中で3年生の経験値を生かし一丸となって順当に準決勝まで登っていこう。また、メキメキと頭角を現してきたのが岐阜農林高である。「ひたむきに」「一生懸命に」「礼儀正しく」をモットーに、基礎基本の徹底をしてきた。試合を観てくださる方々に、感動と勇気を与えてくれること間違いなしだ！！

A 今年の岐阜女子高はさらにレベルアップしている。ディフェンスからオフェンスに転じるスピードや、インサイドとアウトサイドの使い分けなどの状況判断能力を日頃の練習でさらに磨きあげてきた。怪我を克服し、プレーの成長も著しい#4 SG 大橋（3年・大垣東中）、走れるセンターとして得点力がアップしている#6 CF 谷（3年・猿投中）、センターとしては小柄であるが全国屈指のディフェンス力・リバウンド力を誇る#8 C 徳イイファト（1年・LBD中）、大型ガードとしてパワー・スピードは日本代表U-18に招集されてもおかしくない能力をもっている#12 G 田中（2年・鼓ヶ浦中）、今後シューターとして期待が大きい#7 F 村瀬（2年・藤浪中）の活躍が、大会に花を添えてくれるだろう。

明るく元気な応援で会場を惹きつける岐阜総合高。「どんな状況でも笑顔でプレーする」を合言葉にしてきた。ゴールに向かう気迫とチーム強い気持ちをもっている#4 F 横山（3年・那加中）、状況に応じた賢いプレーを選択できる#5 F 高木（3年・高田中）が攻守の軸として活躍し、ベスト8を死守したい。足を使ったチームディフェンスとチームリバウンドで戦いに挑むのは恵那高だ。スピードあるプレーと相手の意表を突くパスでゲームを作る#4 PG 安藤（3年・恵那西中）や、#6 C 加藤（2年・岩岳中）のパワーやステップを生かしたゴール下のプレーで、一試合一試合を全力で戦ってほしい。昨年度の大会で成し遂げたベスト8の壁に挑みたいのが東濃美高だ。チームの柱として、ドライブイン・3Pシュートなど器用にプレーを変化できる#4 F 安富祖（2年・東中）、リバウンドとゴール下での体の強さNo.1の#5 PF 小川（2年・中部中）で今大会に挑む。

また、全員でディフェンスを40分間やり抜き、全員で点を取りに行くことを目標にしている大垣日大高は、#4 PF 新谷（2年・大垣北中）と#6 PG 安藤（2年・大垣東中）のドリブルワークとスピードで相手のディフェンスを崩しに行く。

B 県総体決勝戦、粘りのディフェンスと正確なシュート力で女王岐阜女子高を苦しめ、会場を沸かせた第2シートの県岐商高。#4 SG 市原（3年・那加中）と#5 SG 大西（3年・三輪中）がスピード溢れるプレーでチームを引っ張る。ガッツあふれるプレーが持ち味の#9 辻（3年・江並中）、ウィンター杯の#6 川島（3年・伊奈波中）・#7 藪下（3年・神戸中）のポストプレーに注目したい。「明るく、最後まで粘り強く」を信条に、今大会も優勝を狙う。

郡上高は、普段から自ら考えるバスケットボールをおこなうことを意識し、ボールを追う姿勢、ゴールを狙う姿勢は流れを引き込む大きな武器と言える。#4 F 酒井（2年・大和中）のコート走り回り相手を出し抜くプレーや、#5 PF 和田（2年・八幡中）の相手からボールをもぎ取り攻撃に転ずる力強いプレー、#8 PG 蓑島（2年・白鳥中）のゲームメーカーとしてアグレッシブな動きで仲間を生かすプレーに注目だ。チームディフェンスとチームオフェンスを大切にしている大垣商高。#4 C 梶川（3年・大垣東中）がオールラウンドプレーヤーとしてチームを引っ張り、多彩なドリブルとシュートが持ち味の#7 PF 石田（2年・高田中）と#8 PG 畑中（2年・大野中）を中心に築き上げてきたチーム力を、どのように発揮してくれるのか期待が高まる。県岐商高との戦いが楽しみだ。短時間ながら選手同士でメニューを決め、真摯に練習に取り組んでいる大垣北高。普段の集中力を生かし、#4 F 木原（2年・神戸中）の独特のリズムから放たれる正確なミドルシュートや、相手からボールを奪うディフェンス力をもつ#6 SG 中島（2年・垂井北中）、身長の高さを感じさせないくらい攻撃の幅が広い#7 C 水谷（2年・輪之内中）の活躍から、笑顔で彼女たちらしい試合が展開されることを願う。

C

第3シートの高山西高は、「基礎基本の繰り返し」を重視し、常に目的意識を持ち、個人技能を高めるための努力をしてきた。1・2年生主体のチームとなり、新たな選手が頭角を現してきている。3年生の経験値も生かしチーム丸となって今大会も大いに暴れてくれる事に期待したい。

長良高は、パワーのあるゴール下の守護神**#4 C** 総山（2年・加納中）が柱となってくる。また、小柄ながらインサイド・アウトサイドのオールラウンダーな活躍を期待する**#6** 中村（2年・笠松中）や、**#9** 藤森（2年・加納中）の粘り強いディフェンスとゲームコントロールからリズムを作りだし、長良高らしいマンツーマンディフェンスから速い展開のバスケットでより高みを目指す。

高山西高と長良高に立ち向かうのは、「一球総力」を部訓とする中津商高だ。**#4 C** 酒向（3年・岩村中）のリバウンドやルーズボールへの身体を張ったプレーや、**#5 PG** 佐藤（3年・第二中）の、窮地でみせる集中力を中心に、全員がコートで躍動する姿を魅せてもらいたい。スピードを武器にした速い展開と、ボールをとことん追いかける粘り強さが持ち味の益田清風高。大きな声でチームをリードする司令塔の**#4 PG** 齋藤（2年・萩原南中）や、**#8 SG** 中島（1年・金山中）の素早くどこからでもシュートに繋がられる器用さを活かして、今大会ベスト16を目指す。

D

最も波乱の起こりそうなのは激戦区Dブロックだ。対岐阜女子高への挑戦権をかけて、一回戦からつぶし合う形になる。第4シートの岐阜農林高は簡単には駒を進めさせてもらえないかもしれない。普段から「声と基礎基本」を大切にし、相手を圧迫する粘り強いディフェンスをさらに鍛えてきた。**#4 PG** 馬淵（3年・神戸中）のゲームコントロールと献身的なプレー、**#7 PF** 林の内外角からのシュート、**#8 PF** 早矢仕（3年・穂積中）のリバウンド力とポストプレー、**#10 SF** 渡邊（3年・笠松中）のひたむきなディフェンス、また成長著しい下級生の**#12 PF** 石丸（2年・長良中）・**#15 PF** 長縄（1年・桜丘中）・**#18 SG** 矢吹（1年・大野中）にも期待したい。最後まで戦い抜く強い心で勝ち進み、メインコートに立つ岐阜農林高を見てみたい。

打倒！岐阜農林高に燃えるのが、新人戦では逆転勝ちをしたものの、県総体のブロック決勝では同校に敗れた土岐商高だ。リベンジに燃えているに違いない。**#4 PG** 伊藤（3年・瑞陵中）の相手をかきまわすスピードあるドリブルワーク、脚力が自慢で速攻の要である**#5 F** 新免（3年・北陵中）、長身ながらインサイドだけでなくアウトサイドシュートの活躍も楽しみな**#6 F** 栗山（3年・陶都中）のプレーで、今大会では冬からの雪辱を果たしベスト4に返り咲いてもらいたい。

さらに、虎視眈々とシート校の座を狙っているのが、近年着実に力をつけてきている関商工だ。体格と脚力を武器とした3年生チームに新たな戦力が加わった。パッセンスとシュートセンスを兼ね備えた**#13 SG** 高山（2年・美濃中）、負けん気の強さと、パワフルなドリブルで相手を切り裂く**#14 PF** 細川（2年・八幡中）、ズバ抜けた得点能力を持つ**#18 SF** 平林（1年・美濃中）、懐の深いドリブルと3Pシュートが得意な**#17 SG** 野村（1年・美濃中）。上級生と下級生の力が融合した力が波乱を巻き起こしてくれるに違いない。同じくシート校を狙うのが斐太高だ。リバウンドを中心にゴール下を制す**#4 C** 大沢（2年・東山中）、**#5 PG** 知手（2年・日枝中）の小柄ながら持ち前のドリブルと視野の広さからのアシストで勝ち進んでもらいたい。「基本の連続と繰り返しが、応用でありゲームである」ことをモットーとし、繋げる・続けるといった雰囲気が見られるチーム作りを目指す飛騨高山高。**#4 PF** 田口（2年・日枝中）の積極的な攻撃とリバウンドや、**#6 PG** 井之口（2年・古川中）のオールラウンドな活躍で、試合の主導権を握りゲームを通じて個人やチームが成長できる大会にしてもらいたい。

新チームの人数に恵まれた岐阜高。堅実なプレーで攻守の柱の**#4 SG** 海野（2年・長森中）を中心に、チーム丸となって粘り強いディフェンスからの速攻を武器に一戦一戦頑張ってもらいたい。攻守の切り替えを大切にしている岐阜城北高は、**#4 SG** 野村奈（2年・清流中）と**#9 F** 野村亜（1年・清流中）の息のあった姉妹プレーに注目したい。15人全員で戦っていくチームを目指す中津高は、**#4 SG** 堀（2年・岩邑中）が元気あふれる声とディフェンスでチームを引っ張り、器用なプレーを魅せてくれる**#5 C** 田口（2年・苗木中）の走りから、初戦を勝利で飾りたい。新チームになってからディフェンスを重点的に取り組んできた可児高は、どんなに苦しい状況でも足を動かし、チームを支える**#4 G/F** 上野（2年・広陵中）、最後まで走り切ってほしい**#5 G** 後藤（2年・広陵中）、外からの正確なシュートで勝利に導いてほしい**#6 SG** 井戸（2年・西可児中）の活躍を鍵に、個人の力では足りない部分をチームの力で補い勝利を掴みにいく。